

平成 26 年 10 月 27 日

熊本県水産研究センター 資源研究部
tel 0964-56-2511, fax 0964-56-4533
http://www.suiken.pref.kumamoto.jp/

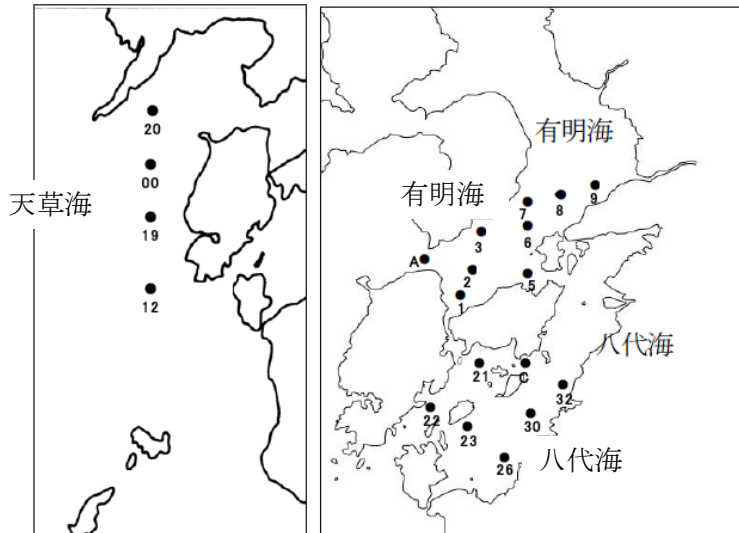
仔稚魚モニタリング調査結果概要（H26. 6～7 月調査分）

水産研究センターでは、毎月 1 回、本県の重要な魚類の仔稚魚の発生状況について調査し、漁獲予測等への活用を目指しています。

今回は、6～7 月調査分から、カタクチイワシとマダイの仔稚魚数についてお知らせします。なお、調査定点は下図のとおりで、採集方法は、円形稚魚ネット（直径 1.3m）で、昼間に表層及び中層曳きにより採集しています。

1 調査地点

有明海 9 地点、八代海 7 地点、天草海 4 地点で行いました。

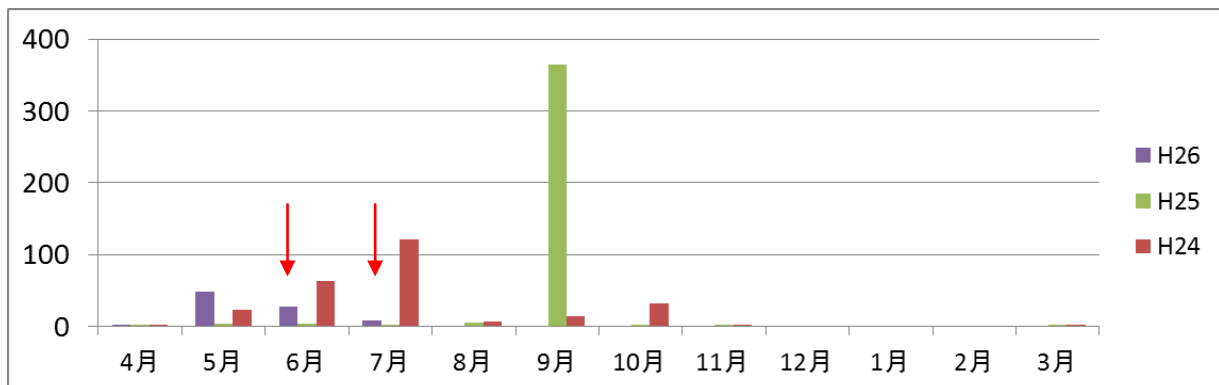


2 結果概要（図中の赤矢印で示している部分が今回の結果です）

(1) カタクチイワシ仔魚

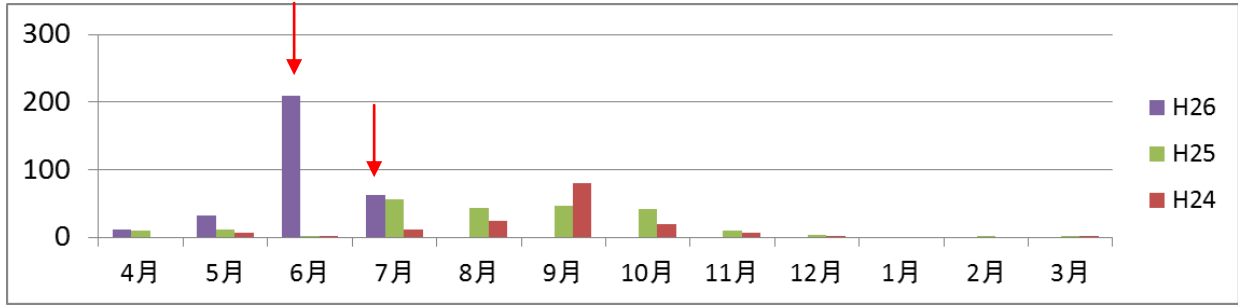
6～7 月の出現数は、有明海では前年より多め、平成 24 年より少なめ、八代海では過去 2 ヶ年より多め、天草海では平成 24 年より多め（前年欠測）でした。

有明海

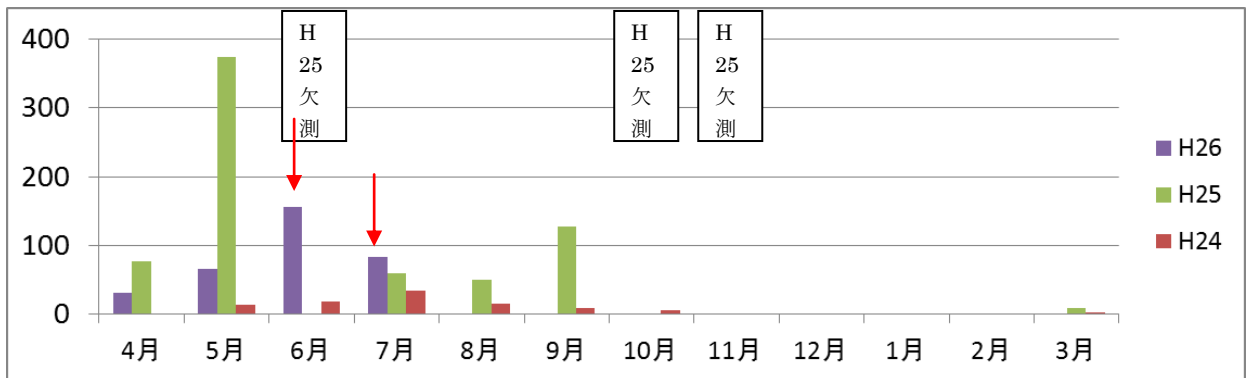


※グラフの縦軸は、海水 1,000 立法メートル当りの卵仔稚魚の出現数を表しています。
 また、各海域の当月毎の全調査地点の平均を表示しています。

八代海



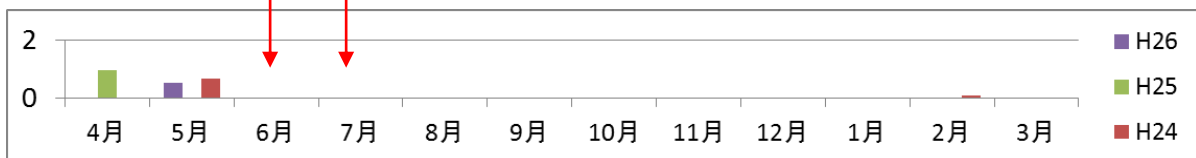
天草海



(2) マダイ仔魚

6~7月の出現数は、過去2ヶ年と同様に、3海域ともほとんどありませんでした。

有明海



八代海



天草海

